



## 補助事業代表者 ご挨拶

特任教授 中島 清一

大阪大学医学部附属病院  
消化器外科  
大阪大学大学院医学系研究科  
次世代内視鏡治療学共同研究講座

医療機器は、診断から治療にいたるすべての段階で、なくてはならないものです。しかしながら我が国においては、長らく医療機器の大幅な輸入超過が続いています。「優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業」は、国際競争力を有する国産医療機器の創出に結びつけるための環境・体制の整備、ならびにこれら機器開発に資する人材の育成を大きな目的とする国立研究開発法人日本医療研究開発機構の補助事業です。

これまでの医療機器開発人材育成事業の多くは「医療側が企業側から人材を受け入れて育成する」というカタチが大前提となっていました。我々は、開発人材の育成に長く取り組むなか、「開発人材＝企業人材」と決めつけず、医療従事者らもまた「開発人材」たるべし、と考えるにいたりました。弊学プログラムでは、企業関係者、医療従事者がともに学び、ともに育成しあう、双方向のプログラムを構築します。本プログラムを通して双方の人材が活発に交流することで、産と学、医と工の境界を越えた、いわゆる「融合人材」の育成をめざします。

お問合せ：大阪大学 次世代内視鏡治療学 担当：砂井

大阪大学大学院医学系研究科  
次世代内視鏡治療学共同研究講座 内  
〒565-0871 吹田市山田丘1-3  
大阪大学 生命システム棟8階802  
TEL:06-6105-5250  
project\_engine@me.com

## ACCESS

### 大阪大学吹田キャンパスへのアクセス



### 吹田キャンパスマップ



#### 空港

##### 大阪空港(伊丹)から

- 大阪モノレール「阪大病院前」下車 徒歩約5分

##### 関西国際空港から

- JR「大阪」下車→(乗換)地下鉄御堂筋線「千里中央」下車→(乗換)大阪モノレール「阪大病院前」下車 徒歩約5分
- 南海本線「難波」下車→(乗換)地下鉄御堂筋線「千里中央」下車→(乗換)大阪モノレール「阪大病院前」下車 徒歩約5分
- リムジンバス「大阪駅」下車→(乗換)地下鉄御堂筋線「千里中央」下車→(乗換)大阪モノレール「阪大病院前」下車 徒歩約5分

#### 電車

- 大阪モノレール「阪大病院前」下車 徒歩約5分
- 阪急千里線「北千里」下車 徒歩約20分

#### バス

##### 阪急バス

- 千里中央発「阪大本部前行」または「茨木美穂ヶ丘行」乗車
- 北千里発「阪大病院線」乗車 ※千里中央発、北千里経由もあります。

##### 近鉄バス

- 阪急茨木市駅発「阪大本部前行」(JR茨木駅経由)乗車
- いづれのバスも「阪大医学部前」「阪大医学部病院前」下車 徒歩約5分

医療機器の開発に取り組む企業関係者、  
医療従事者の皆さんへ

国立研究開発法人日本医療研究開発機構補助事業  
優れた医療機器の創出に  
係る産業振興拠点強化事業  
のご案内

参加費  
無料



## 2024年度プログラム



01 座学	eラーニング 対面式セミナー 9月6日(金) 大阪大学 銀杏会館 9月20日(金) 大阪大学 臨床研究棟3階 セミナールーム
02 実習	病院内実習 10月7日(月)～9日(水) 大阪大学医学部附属病院 ハンズオン・ラボ 9月7日(土)、12月14日(土)、2025年2月22日(土) 神戸医療機器開発センター(MEDDEC)
03 検討会	ニーズ検討会 11月8日(金) 大阪大学 吹田キャンパス

日程、場所は変更される可能性があります。

参加申込: <https://forms.gle/XqsTv9tsVBVzeEvy8>



大阪大学大学院医学系研究科  
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番2号  
TEL 06-6879-5111(代表)

# プログラムのご紹介 大阪大学プログラムは5つで構成されます

本プログラムは、「優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業」に基づき、医療機器の開発を担う企業人材の育成と、機器開発を支える基盤の整備をめざすものです。

## 01 座学

eラーニング(オンデマンド配信)では、企業側が主として基礎的な医学知識(解剖や用語等)や医療現場の現状を学びます。

対面式セミナーでは、企業側、医療側双方が、医療機器ビジネスの総論、各論を学びます。



## 02 臨床実習

企業側を対象とした、本学医学部附属病院の実臨床部門(病院外来、検査室、病棟、手術室等)の視察、実習です。3日間にわたって実際の臨床活動の現場をじっくり観察し、企業人材みずからがニーズを発見できる機会を提供します。参加者が実習で見いだしたニーズは、のちの検討会でドクターらと詳しく検討します。



## 03 ハンズオン・ラボ

手術室と同等の環境で、大型生体動物(ブタ)を使って参加者自身も実際の機器や器具に触れることで、自らの視点で現場のニーズを見いだすという、ユニークな実習機会です。実際に手術着を着用し、手術チームの一員として手技を間近で観察することができます。臨床実習では困難なよりリアルな現場体験ができます。



## 04 ニーズ検討会

座学や臨床実習、ハンズオン・ラボを通して、参加者が自ら見出したニーズ、アイデアを持ち寄り、ドクターとともにじっくり検討するワークショップ形式の検討会です。

最新のファンリテーション理論を駆使して、アイデアの発散と集約化を行います。プレゼンのスキルアップにも!



## 05 開発相談

弊学プログラム参加者を対象に、臨床ニーズ・市場規模把握、既存製品の改良・改善、製品コンセプト、製品の性能評価方法、治験、事業戦略、知財戦略、薬事戦略、販売戦略等、プロセスごとの相談に応じます。

オンライン相談にも取り組んでおります。



### ■ ご注意事項

- ① 02 臨床実習に参加を希望される方は、01 座学、04 ニーズ検討会への参加が必須となります。
- ② プログラムは変更される可能性があります。
- ③ 参加費は原則無料です。ただし、プログラム内容によっては一部実費負担をお願いすることがあります。

○臨床実習には毎年、参加希望者が集中します。応募者多数の場合は「企業選定委員会※」にて検討し、参加者を決定させていただくことがあります。

※「企業選定委員会」は、大阪大学関係者、企業関係者、行政や自治体関係者等で構成されます。「企業選定基準」をもとに参加者を公正に選定します。